



伊場遺跡発見七〇年

—偶然の発見から、第一次調査までのこと—

今年、伊場遺跡が発見されてから七〇年になる。JR浜松駅から西へ二〜三㎞ほどの場所にある伊場遺跡は、その一部が史跡公園として整備されており、弥生時代の三重の環濠や、復元された建物などを見学することができる。この機会に、伊場遺跡の発見から第一次調査までの様子を、浜松市文化財調査報告書「國學院大學伊場遺跡調査隊編『伊場遺跡—西遠地方に於ける低地性遺跡の研究—』（以下、「報告書」といふ）浜松市一九五二（昭和二七）年刊をもとに紹介したい。

その発見は、一九四九（昭和二四）年二月のこと、西部中学校の生徒が土器のかけらを拾ったことに始まる。その土器片は、太平洋戦争中の艦砲射撃によって、地下約二mの泥土まで掘り返されて、地表に出た。戦時中、伊場遺跡の付近には鉄道省浜松工機部（JR浜松工場の前身）があり、アメリカを中心とした連合艦隊から艦砲射撃の標的にされた。土器片が見つかった当時は、砲弾が爆発してできた窪みが池となって、あちこちにまだ残っていたという。

遺跡というものは大抵、地下に眠っていて、掘らないと出てこない。田畑の耕作などで土が掘り返されることによって、土器のかけらなどの遺物が地表に表れると、それによって地下に埋もれた遺跡の存在を推測できる。ところが、伊場遺跡の場合はあまりにも地中深く埋もれていて、田畑の耕作程度のことでは遺物が地表に表れてこないのだ。「戦争」という悲劇が皮肉にも「古代生活層」研究の資料を提供して呉れた」（報告書）のだった。

さて、拾われた土器片は、同中学校の社会科教員だった高柳智氏に届けられ、高柳氏から氏の母校である國學院大學に情報が伝えられた。高柳氏の見識と適切な行動が無ければ、その後の展開は無かつただろう。

その当時、静岡市の登呂遺跡では「国家的調査が開始されて第三年目を迎え」（報告書）であり、豊橋市でも瓜郷遺跡の調査が行われていた。登呂、瓜郷と同じ弥生時代の遺跡として伊場遺跡の発見も世間から注目され、当時の考古学界からも瓜郷と登呂との間の地理的、文化的空白を埋めるものとして、伊場遺跡での発掘調査が期待された。

そして、その年の四月一六日の試掘から、翌年八月一日に終了した第四期調査まで断続的に、國學院大學の調査隊により発掘調査が行われた。これら一連の調査は、伊場遺跡第一次調査と呼ばれている。（裏面へ続く）



伊場遺跡公園

上) 復元建物

下) 環濠



かつての伊場遺跡付近の風景

—帯には水田と芦原が広がっていた



《伊場遺跡出土・鱧付壺》
弥生時代後期 浜松市博物館蔵

登呂遺跡との関連で注目されていたため、この時点での伊場遺跡は、弥生時代遺跡という一面の印象が強かった。弥生時代の主な遺物としては、側面に鱧(ひれ)状の装飾がある特殊な壺をはじめとする土器や、農具などの木製品が出土している。

第一次調査では、伊場遺跡西方の城山地区(後に城山遺跡と命名)の調査も行われ、古墳時代の須恵器やガラス玉、奈良・平安時代の墨書土器(墨で文字が書かれた土器)も見つかってはいた。都城遺跡以外で木簡・墨書土器が大量に出土する場所として、伊場遺跡とその周辺の遺跡「伊場遺跡群」が古代史上の注目を集めるようになるのだが、それはその約二〇年後の話である。現在はさらに調査が進み、伊場遺跡群は古代の遠江国敷智(ふち)郡の郡家(へうけい郡の役所)があった場所といふことではほぼ確定されている。

第一次調査の陰には、地元の人々からの調査に対する直接的・間接的援助があった。調査期間中に、浜松市長を会長に、市内の財界人や文化人などの各界の有識者により伊場遺跡保存会が結成され、調査隊への全面援助が確立した。また、地元の中学・高校生徒によって調査補助隊が編成されて調査を助け、婦人会は茶菓の接待で調査隊をもてなした。報告書序文で岩崎豊浜松市長(当時)は「浜松の成り立ちというものが単なる昔からの言い伝えの範囲を脱して、あからさまな事実を基礎として証明されるに到ったということとは、およそ浜松人たるものこの上もない喜び」であると記しているが、次々と土の中から出てくる新発見に対する驚きと喜びが、調査員のみならず地元の人々にも共有され、結果として物心両面で調査を強く後押ししたのであった。

お知らせ

伊場遺跡発見70年と浜松市博物館開館40年を記念し、奈良時代の伊場遺跡にスポットをあてる展覧会を開催します。

特別展「古代東海道駅伝展」

10/5(土)～11/24(日)

記念講演会やギャラリートークなどの関連イベントも企画中です。ご期待ください。

催し物のご案内

★テーマ展「天竜川平野のパイオニアたち」

4/20(土)～7/1(月)

天竜川平野に進出し、自然に立ち向かいながら生活の基盤となるムラをつくりあげていった、弥生時代から古墳時代の人々に焦点をあてる。

★ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

4/20(土)、5/1(水)、6/1(土)、7/1(月)

14:00～14:30

★浜松市博物館・豊橋市自然史博物館共催

小展示「《干支展》亥 一猪口(ちょこ) っとイノシシー」

(開催中)～5/6(月)

★はまはくまつり

ーゴールデンウィークだよ、全員集合！ー

4/27(土)～5/6(月)

☆5日間限定 5/1(水)～5/5(日)

《駄菓子のにじみ屋》9:30～15:30

《しじみ屋の紙芝居》10:00～, 13:00～, 15:00～

《学芸員による展示ミニガイド》11:00～, 14:00～

《クイズラリー》9:30～15:30

☆期間中毎日

《なつかしいおもちゃで遊ぼう》9:00～16:00

《浜松市の昭和(市政ニュース)》9:00～17:00

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

5/11(土)14:00～ 蛸塚公園内旧高山家住宅

※参加無料、申込み不要。直接、会場へ。

浜松市博物館

開館時間：9時～17時

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

4・5月の休館日：4/15、18、19、22、5/7、8、13、20、27

電話：053-456-2208 FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/